

強い農業づくり総合支援事業の取組事例(令和2年度:事業実施主体:農事組合法人和久楽)(山形県)

取組の概要

- 対象品目 : 水稻(受益面積47ha)
 そば(受益面積21ha)
- 成果目標1 : 水稻の高温耐性品種の作付割合を5.05ポイント向上
 基準(R1年度) 10.40ha/40.65ha (25.58%)
 目標(R4年度) 14.40ha/47.00ha (30.63%)
- 成果目標2 : そばの収穫面積を50.0%増加
 基準(R1年度) 14.0ha
 目標(R4年度) 21.0ha
- 導入施設等 : 乾燥調製施設
 (建屋、荷受設備、乾燥設備、精選設備、糶摺り設備、集排塵設備、そば乾燥設備、石抜き機)



山形県村山市
 戸沢地区

ポイント

【産地としての持続性を確保し、収益力を向上するための方策】

生産者の高齢化・担い手不足、農畜産物の価格低迷等による農業生産への影響は深刻であり、地域全体の生産規模は縮小傾向にある。今後、果樹・園芸作物はもとより、土地利用型作物においても生産者の減少が加速化することが見込まれるため、受け皿となる担い手を確保・育成していくことが求められている。また、土地利用型農業においては、より一層の経営効率化に向けた農地の面的集約や将来的な担い手の確保育成を図ることが急務となっている。

【産地としての持続性を確保し、収益力を向上するための方策】

- ①法人に農地を集積することにより、共同作業・役割分担を行うことにより省力化・効率化を図る。
- ②地球温暖化に対応した水稻高温耐性品種の作付拡大により気象変動による品質低下を防止。
- ③そばの契約面積の拡大を図る。

推進体制

- 山形県村山総合支庁
 北村山農業技術普及課、
 農業振興課
- 村山市

- JAみちのく村山
 農事組合法人和久楽
- ①計画の策定・管理
 ②取組の実施 等

指導・助言・各種支援

- 行政機関(県、市)による指導助言等サポート体制

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 法人化を行い、共同作業・役割分担を行うことにより省力化・効率化を図る。

取組成果

【事業実施による直接効果】

- 乾燥調製施設の導入により乾燥調製作業を効率化し、生産コストを削減
- 水稻高温耐性品種作付割合向上により品質が安定
- そばの契約面積が拡大

【事業実施による間接効果】

- 法人に農地を集積することにより作業効率が向上

産地の強化

水稻の高温耐性品種割合
 達成率 601.6%
 そばの収穫面積
 達成率 370.0%

